

黒須としたか

活動レポート 田園海浜文化都市宣言 CROSS通信



無所属44歳

事務所：大網白里町大網33-8サンモア内（トップマート近く、まちサポ向かい）
電話 0475-73-4126（ナミヨイフロ）自宅電話 0475-73-8615 FAX 0475-70-26
http://www.geocities.jp/oamicross/ Eメール:oamicross@ybb.ne.jp

黒須俊隆（くろすとしたか）プロフィール
1967(S42)年1月16日生まれ
大網小卒業、大網中卒業、長生高校卒業
千葉大学法経学部法学科卒業
印刷会社サラリーマンを経て印刷店経営
2003年町議会議員選挙1511票 2位当選
2007年町議会議員選挙1981票 1位当選
2010年町長選立候補5712票 4人中次点
2011年町議会補欠選挙4255票 1位当選
家族は妻(東京通勤の会社員)と息子2人(小学2年生と幼稚園年中)、近居の父母
趣味は登山・料理・ダイビング・子育て
千葉県市民オンブズマン連絡会議幹事
九十九里浜の自然を守る会会員

議員定数・議員報酬 投票に行こう、選挙に出よう！議会の質は有権者次第 これが真実だ

今回の町議選は立候補する方が多そう、町民の選択肢が広がっていくことだ。投票率アップにつながることを期待したい。議会改革を唱える方も多いが、中身の無い議論より、議員の質の向上こそが町を良くする。だから選挙が大切だ。

■議員定数は何人が適当か

選挙が近づくたびに定数の削減論が盛り上がる。果たして議員定数は少ないほど良いのか検証してみよう。

私が子どもの頃、大網白里町の議員定数は26人だったが今は20人に削減されている。人口は当時の2倍に増えたので、人口千人あたり1人だった議員が今では2千5百人あたり1人となっている。

福島県矢祭町議会の定数減や報酬を論じる方が多いので私も考えてみたい。矢祭町の議員定数は10人だ。人口は6260人、大網白里町が5万人超だから8分の1以下だ。矢祭町からの人口比で考えると本町は80人の議員が必要となる。本町からの人口比で考えると矢祭町議会は、議員2人でよくなる。2人だと議長と議員が1人ずつ。1人の賛否で全て決まってしまう。

■議会には委員会がある

本町では総務・文教福祉・産業建設の3常任委員会がある。住民サービスの多様化で審査案件も多くなる。仮に1つの委員会が3人しかいなかったとしたら委員長1人に委員が2人となり、2人では多様化した住民の意見を反映できな。2人の意見が分かれたら先にも進まない。1委員会に6人位いれば委員長1人に委員が5人、5人いればある程度住民の意見を反映する議論もできるだろう。6人×3委員会、18人、議長副議長は委員会から離脱するのが望ましい（これは議会改革が必要）

要）。したがって20人の定数というのは委員会制度を適正に維持するために必要な最低人数になる。

■議員報酬日当制を考える

矢祭町の議員が日当制で議会人件費が3分の1になったというが、人口あたりの議員歳費は本町以上だ。

日当制というのは議員は議会が開かれているときだけ働けば充分という制度である。本町の予算は一般会計だけで130億円。皆さんの貴重な税金の使い道を審査すること

が議員には最重要の仕事だ。予算書は分厚く、一度でも開いたことのある方は日当制などで議員の仕事ができるわけではないことはすぐわかる。きちんと仕事をすれば日当制（矢祭議員の日当は3万円）の方が高くなる。

そもそも大きな町でも小さな町でも議員のやることはそんなに差はない。だから人口比例で議員定数を論じるのはおかしい（定数の上限は地方自治法で決められている）。

定数削減や日当制で議員の仕事量を縮小するよりも、町民の代表としてしっかり働いてもらう方が住民サービスの向上につながる。私は考える。地方自治の先進地であるイギリスも現在では議員の専門職化が進む傾向にある。

■黒須の議員報酬大公開？

私の議員報酬は手取りで約280万円（※1）。政務調査費が年間5万円弱（※2）だ。

広い家屋敷のある議員は自宅に事務所をかまえるが、狭い我が家では無理なので事務所を借りている。その維持費が年100万円、議会報告の印刷・折り込み等で40万円、視察や研修、書籍購入などで20万円。その他文房具やパソコンなどの費用を引くと、残り100万円足らず。おまけに8年で6回目の選挙だ。議員になるならにかかわらず志がなければ政治活動も社会運動もできるわけがない。議員になる前から私はそう思っずと生きてきた。

■21歳の君たちへ

本町の多くがサラリーマン世帯だ。様々な年代の方が住んでいる。そして住民の半分は女性だ。その代表たる議会議員が、農家や商工業者か、退職した高齢者だけ、しかも男が8割を占める現状はいか

かなものか。

現在21歳以上の方は4年後には25歳以上になり、被選挙権を持つことになる。議員に立候補できる年齢になる。

世界では若者が格差社会への異議申し立てに立ち上がっている。日本でもワーキングプアなど若者の貧困が叫ばれて既に久しい。政治参加は様々な形があり、議会だけでは足りないが、議会にも若者の参加が必要なのは間違いない。

大都市の議員などで、大学生のインターシップなどを受け入れて、社会勉強に役立ててもらおう試みがある。4年後に我こそはという若者の皆さん、ぜひ黒須の政治活動を見学に来て下さい。

この町の未来は君たちの肩にかかっている。



黒須としたかの政治姿勢

- ・大事なことはみんなで決めます
- ・無駄な公共事業は見直します
- ・徹底した情報公開をすすめます
- ・ノーマライゼーション^{※3}をすすめます
- ・あらゆる戦争に反対します
- ・草の根国際交流で平和を作ります

※3 障害者や高齢者など社会的に不利を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。